



**サトウキビの生産量を維持するために**

**与論中学校2年**

# 研究テーマの設定理由

与論島の象徴でもあるサトウキビをなくしたくない！！

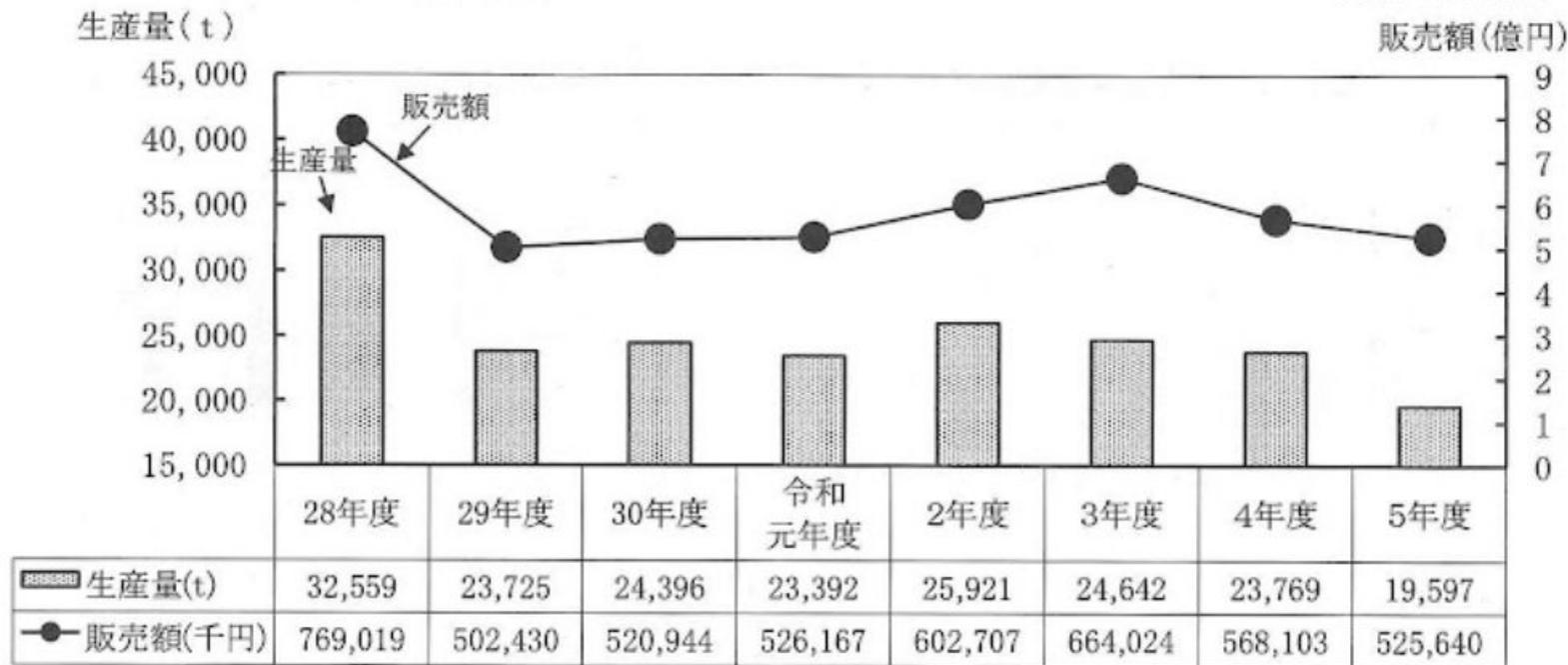
# 調査方法

- ・ インターネットで調べる  
資料を使って調べる
- ・ インタビュー

# 調査報告 ①サトウキビ生産量の現状

さとうきびの生産量と販売額の推移

(資料：産業課)



与論町勢 (令和6年度)

このグラフを見ると、全体的に減少していることがわかる。

## 2024年産サトウキビ島別生産実績

| 島別    | 収穫面積(㌃) | 生産量(トン)       | 単収(キロ/10㌃) | 平均糖度  |
|-------|---------|---------------|------------|-------|
| 奄美大島  | 557     | 26,651        | 4,785      | 13.92 |
| 喜界島   | 1,357   | 67,121        | 4,946      | 15.66 |
| 徳之島   | 3,143   | 172,944       | 5,502      | 13.86 |
| 沖永良部島 | 1,765   | 106,867       | 6,054      | 14.55 |
| 与論島   | 404     | <u>23,745</u> | 5,877      | 13.44 |
| 群島計   | 7,227   | 397,328       | 5,497      | 14.33 |
| 県計    | 9,566   | 558,683       | 5,840      | 13.85 |

注：端数処理の関係で内訳の合計が統計と一致しない場合がある。

生産量が増えている

南海日日新聞

(7月12日)

## ②サトウキビ生産量減少の原因



### (1) 農家人口の減少

平成12年から令和2年への25年間で1648人の農家が減少。

人材  
不足

与論町勢 (令和6年度)

# 昔ながらの手刈り風景

## 与論島でキビ収穫進む

【与論島】キビの収穫が本格化している。島民は昔ながらの手刈りで、収穫したキビは乾燥機で乾燥させてから、選別機で選別する。選別されたキビは、島民が自給用として消費するほか、一部は島外へ出荷している。島民は「昔ながらの手刈り風景は、島の特長の一つ」と語り、収穫作業を楽しんでいる。島民は「昔ながらの手刈り風景は、島の特長の一つ」と語り、収穫作業を楽しんでいる。



昔ながらの手刈り風景。島民は昔ながらの手刈りで、収穫したキビは乾燥機で乾燥させてから、選別機で選別する。

## (2) 機械の導入

機械化の導入が与論島はとても少ない。キビ収穫機械の導入率が喜界島や沖永良部島が90%超えに対して、与論島は67%。

機械の導入は人材不足にも関わってくる。

# 調査報告

(インタビュー)

- ①サトウキビを育てる中で大変なこと
- ②サトウキビ生産量維持のために私達ができること

# インタビュー結果

## ①大変なこと

植え付け、苗付け ⇨腰を痛めやすい・体力

## ②私達ができること

手伝い ⇨人が足りなくて労働力が不足だから

# 考察

生産量減少の原因

→ 労働力不足

《私達ができること》

☆ サトウキビの魅力を多くの人に伝える

☆ 機械の導入を増やす

# 人材不足への解決策

## ①サトウキビを利用した料理大会

⇒ サトウキビの魅力を知る  
ため

## ②サトウキビ農家体験 ハーベスター体験

⇒ 人々がどんな仕事なのかを理解する

## ③人材募集のポスター・子どもたちへの呼びかけ

⇒ 人材不足を知れる  
手伝いをする

# 機械化導入への解決策やAI活用策

- ・ 機械導入への募金
- ・ AIの力を借りた高性能植え付け機
  - ⇒ 募金で集まった費用を活かして
- ・ アシストスーツの開発
  - ⇒ 腰や腕の疲労軽減

## その他の解決策

- ・ 使わない土地をマッチングできるようなアプリやホームページの作成

# 今後の課題

自分で考えた対策を実践する！！

募金  
機械の開発  
呼びかけ



**ご清聴ありがとうございました**



※生徒名、画像や写真など HP掲載にあたり資料の内容を一部変更している箇所があります。

与論町海洋教育推進協議会